

令和8年3月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和8年3月分について、輸出額は「自動車」などが減少したものの、「重電機器」などが増加したことから、対前年同月比6.2%の増加となった。また、輸入額は「原粗油」「液化天然ガス」などが増加したことから、同4.9%の増加となった。

その結果、差引額は8,652億円（同7.3%の増加）となった。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降178ヵ月（14年10ヵ月）連続 全国港別（空港含む）第1位

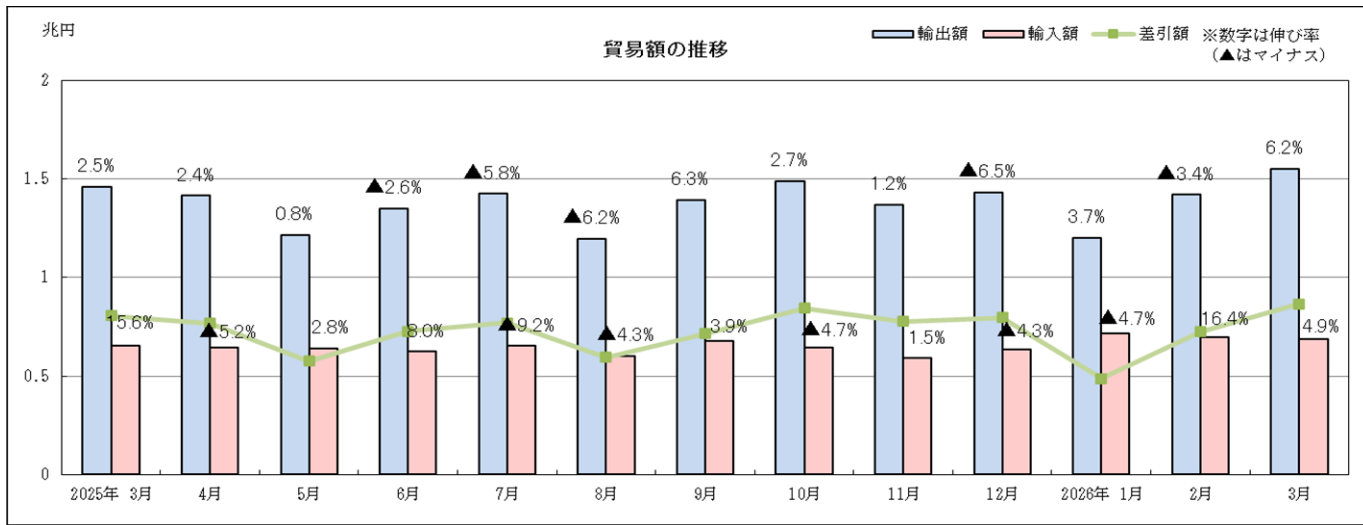
注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸 出 額	伸 率	輸 入 額	伸 率	差 引 額	伸 率
名古屋港	★ 1兆5,516億円	+6.2%	6,864億円	+4.9%	8,652億円	+7.3%
	2ヵ月ぶりの増加		2ヵ月連続の増加		2ヵ月ぶりの増加	
	順位 過去 1 位	3 月として 1 位	順位 過去 6 位	3 月として 1 位	順位 過去 3 位	3 月として 1 位
管内（名港シェア）	2兆3,964億円（64.7%）		1兆2,256億円（56.0%）		1兆1,708億円（—）	
全国（名港シェア）	11兆0,033億円（14.1%）		10兆3,363億円（6.6%）		6,670億円（—）	

○主な増減品目

輸出入	増減	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出	増加	(1) 重電機器	★ 622億円	+35.7%	+1.1	3ヵ月連続の増加
	減少	(1) 自動車	4,408億円	▲5.5%	▲1.8	5ヵ月連続の減少
輸入	増加	(1) 原粗油	620億円	+16.7%	+1.4	3ヵ月連続の増加
	増加	(2) 液化天然ガス	515億円	+12.4%	+0.9	2ヵ月連続の増加



※名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。